

海洋科学掘削委員会での議論における主な調査・検討項目

令和 4 年 3 月 15 日海洋開発分科会決定

海洋科学掘削の分野において、現行の国際深海科学掘削計画（IODP）が 2024 年に終了を予定しており、その後の体制について関係者による検討が開始されている。また、地球深部探査船「ちきゅう」の掘削実績を踏まえた掘削技術に関する検証が国立研究開発法人海洋研究開発機構において実施され、とりまとめ段階にある。

上記の状況を踏まえつつ、我が国の海洋科学掘削に関する今後の方針、ひいては今後の地球惑星科学の展望等について機動的に調査・検討を行うため、海洋開発分科会に海洋科学掘削委員会を設置する。同委員会には以下の項目の調査・検討を実施させることとする。

◆ 調査・検討項目

1. 我が国における海洋科学掘削の現状及び課題について
 - (1) 「ちきゅう」を用いた海洋科学掘削の現状及び課題
 - ア 現状
 - (ア) 建造当初の目標及びこれまでの活動実績・経費
 - (イ) 科学的視点による評価
 - (ウ) 社会的視点による評価
 - (エ) 技術的視点による評価
 - イ 技術面等での課題
 - (2) 「かいめい」等を用いた研究開発の現状及び課題
2. 我が国の海洋科学掘削を取り巻く動向
 - (1) 地球惑星科学分野の研究開発動向
 - (2) IODP の動向
3. 今後の海洋科学掘削を利用した地球惑星科学分野の研究開発の考え方
 - (1) 科学的視点：地震メカニズムの解明、地球環境変動の解明、海底下生命圏の解明、地球内部の組成・構造の解明 等
 - (2) 社会的視点：防災・減災への貢献、海底資源調査への貢献、カーボンニュートラルへの貢献 等
4. 国内外の研究資源を用いた今後の海洋科学掘削の方策
 - (1) 今後の海洋科学掘削の方向性
 - (2) 国際協力を通じた研究開発のあり方